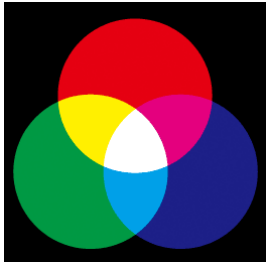




知の産業を拓く最先端の研究開発

(2) 大学の基礎研究を使った製品化の実績例

3原色の最後の難関を解決
「青色LEDの開発」



LED(発光ダイオード)を用いてすべての色を実現するためには、光の三原色(赤(R)・緑(G)・青(B))の原理で、「青色」が必要だった。

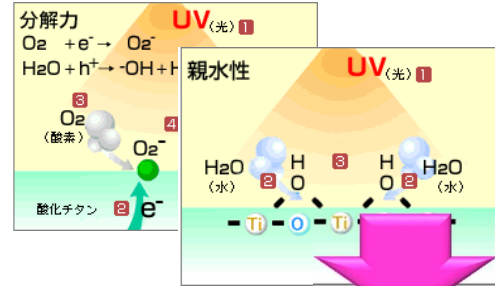


赤崎勇先生(当時名古屋大学)が青色LEDを開発(1985年頃)



多様なLED製品

自然に汚れが落ちる
「光触媒の開発」



大学で、酸化チタンを用いた水の光分解に関するメカニズムが解明された。(図：光触媒工業会HP)

本多健一・藤嶋昭先生(当時東京大学)が解明(1972年頃)



多様な酸化チタンを用いた浄化製品

(上図：Centrair Green Report 2011)

知の産業を拓く最先端の研究開発

(3) 「知の拠点」で行っている研究開発



企業の研究者



大学等の研究者



専任の研究者



「知の拠点」に集まり、
ひとつ屋根の下で研究開発



豊かな
県民生活
につながる

今ある
産業をさらに
高める

新しい
産業をつ
くり出す

自動車・航空機用材料加工技術
に関する研究プロジェクト

食の安心・安全技術に関する
研究プロジェクト

早期診断技術に関する
研究プロジェクト

か

みらい あいち よそうず がやく未来の愛知予想図

2020年頃

